

科目名	作業療法評価学実習Ⅲ						授業の種類	実習	必修・選択		必修
授業回数	15	回	時間数	30	時間	1	単位	配当学年時期	2年	前期	
【授業の目的・ねらい】 測定検査方法を学ぶ 身体障害領域での各疾患において疾患特有の測定・検査や機能評価を学ぶ											
【実務者経験】 作業療法士として順心リハビリテーション病院、介護老人保健施設あさぎり むつみ荘等にて、身体障害領域及び老年期領域のリハビリテーションに従事。											
【授業全体の内容の概要】 作業療法における測定検査方法を実践する 疾患特有の測定・検査や機能評価を体験する											
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 疾患の概要と、疾患特有の測定・検査や機能評価を挙げ、説明することができる											
回数	講義内容										準備物(教材)
1	脳血管障害・頭部外傷の評価（高次脳機能障害の評価を省く）										
2	脳血管障害・頭部外傷の評価（高次脳機能障害の評価を省く）										
3	脳血管障害・頭部外傷の評価（高次脳機能障害の評価を省く）										
4	脳血管障害・頭部外傷の評価（高次脳機能障害の評価を省く）										
5	脳血管障害・頭部外傷の評価（高次脳機能障害の評価を省く）										
6	脊髄損傷の評価										
7	脊髄損傷の評価										
8	脊髄損傷の評価										
9	脊髄損傷の評価										
10	上肢の末梢神経損傷の評価										
11	上肢の末梢神経損傷の評価										
12	上肢の末梢神経損傷の評価										
13	関節リウマチおよびその類縁疾患の評価										
14	関節リウマチおよびその類縁疾患の評価										
15	まとめ										
定期筆記試験											
【使用教科書・教材・参考書】 標準作業療法学 作業療法評価学 3版 能登真一 医学書院											
【準備学習・時間外学習】 当日授業の振り返りのため資料や教科書を確認する											
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】											
試験の結果を100点満点として成績を評価する。 小テスト50点、定期試験50点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。											